

# 『come come\* はにコット』趣意書

come come\*はにコット実行委員会

実行委員長

牧 梨恵

『come come\*はにコット』を開催するにあたっての経緯

代表自身の自宅がいましろ大王の杜の近隣に有り、憩いの場として家族で利用していました。

安全で子供が走りまわり、自然溢れる空間というのは、なかなか今の時代に少ないのが現状です。自身の生活圏の中に、このような歴史的遺産であり、自然溢れる憩いの場が有ることに感動しもっとこの『いましろ大王の杜』を、より身近に、そして多くの方に知っていただきたいと平成24年4月第1回目『come come\*はにコット』を開催致しました。皆様の御支援をいただきまして、今回9回目の開催となります。

『come come\*はにコット』とは、

高槻の歴史遺産を舞台として、作り手、食文化の魅力を促進することで賑わいの創出を目的としたイベントです。

一般市民が自由に行き来する緑あふれる広場や、身近に1000体の円筒埴輪や700体の人形埴輪など歴史を感じていただける環境の中、『古代・古墳・埴輪』と『表現者達による自由な発想』の融合イベントを目指しております。

各作家の作品ブースをはじめ、作家の『古代や現代の埴輪』を表現した作品の展示(はにコットブース)やアート作品の製作体験(ワークショップ)や、古代をテーマにした飲食(グルメブース)など、多くの市民の方に気軽に楽しんでいただけるプログラムを設けております。

イベント独自のカラーを大切に『いましろ大王の杜』だからこそできること！をカタチにします。アートで歴史遺産をより身近に感じていただき、埴輪の認知度をさらに深め、生活の中により溶け込む場所になるよう、志しています。

当イベントは、『知る・観る・感じる』をテーマに、多くの市民の方はもちろんのこと、地域の方々だけでなく市外からも多くの方々に訪れていただく事で、『いましろ大王の杜』に賑わいをもたらし、『埴輪のあるまち 高槻』の知名度向上に貢献できればと思っております。個々の表現と、古代、古墳と埴輪の移植融合イベントとし『いましろ大王の杜』をアーティストの表現の場として注目いただけたらと思います。

- 開催期日\* 令和元年年11月17日(日) (2019年)
- 開催場所\* いましろ大王の杜 (今城塚古墳)
- 開催時間\* 10:00~16:00
- 内 容\* 『はにわとアート』をキーワードに下記プログラムを実施します
  - (1) 作品の展示販売ブース (150~200店舗)
  - (2) 古代グルメブース (約25店舗)
  - (3) ワークショップブース (5店舗)
  - (4) 音楽ブース (約7組) 10時~15時までの演奏その他、スタンプラリー、ライブペイント等のプログラムも予定

「はにコット実行委員会」事務局所在地  
高槻市芥川町 3-10-14